

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年2月10日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	情報コミュニケーション学部情報コミュニケーション学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2023年12月22日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	カリフォルニア州立大学フラトン校(日本語名) California State University Fullerton(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2023年8月～2023年12月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月中旬 2 学期: ~ 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	35,100 人
創立年	1957 年

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (USドル)	日本円	備考
授業料	5622ドル	840,000 円	
宿舍費		1,500,000 円	
食費		250,000 円	
図書費	0	0 円	
学用品費	20ドル	3000 円	
携帯・インターネット費	0	0 円	ソフトバンクのアメリカ放題を利用したため 無料
現地交通費	206.61ドル	30,851 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	300ドル	44,796 円	
被服費	100ドル	15,000 円	
医療費	0	0 円	
保険費		170,395 円	形態：明治大学の保険と現地大学の保 険(830ドル)
渡航旅費		358,120 円	
ビザ申請費		104,750 円	
雑費	100ドル	15,000 円	
その他		円	
その他		円	
合計	22,313ドル	3,331,912 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 東京(羽田) 目的地: ロサンゼルス 経由地: なし 復路 出発地: ロサンゼルス 目的地: 東京(羽田) 経由地: なし
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: JAL 料金: 358,120 円 ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: JAL 公式サイト) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍等)
<input type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:) <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3) 共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
大学の寮に入れなかったため現地大学の国際事務室に相談して紹介してもらった。そこからオンラインで自分で申し込んだ。
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
アパートに住むのはおすすめしません。家賃がとても高いのと、アパートの管理人さんが不親切であったり手続きが面倒だったりするので学生寮に入ることをおすすめします。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: 現地大学の国際事務室、教授、現地の友人)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

特に犯罪には巻き込まれたりしなかった。現地大学から情報が配信されるのと、現地の友達から情報を得たりしていた。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

ソフトバンクのアメリカ放題を利用していたのでどこに行っても快適でトラブルはありませんでした。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で銀行口座は開設せず、日本の口座に親から仕送りしてもらい基本的にクレジットカードで生活していた。現金は出発の時に日本で両替して持って行った。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

化粧品やスキンケア商品。ウェットティッシュや薬、普段使い慣れている身の回りのものはなるべく持って行ったほうが良いと思います。ふりかけやインスタントの味噌汁を持っていくと便利だと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前にクレジットカードで支払った。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Asian American Women	アジアアメリカン女性
科目設置学部・研究科	Gender
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Salada Vann
授業内容	映像を見てディスカッションすることが最初は多かったですが、途中からはずっと学生がプレゼンするかたちで 1 回のプレゼンで 10 分か 15 分程度しゃべり続けなければいけないので結構ハードです。映像の内容は移民系中国人の歴史や、アジア系アメリカ人女性たちの歴史を映画とともに考察したものなどでした。300 番台の授業なので意欲が高い生徒が多く、留学生も私一人でした。
試験・課題等	小レポート 3 回、中間レポート・プレゼン、レポート・プレゼン、期末エッセイ
感想を自由記入	私がとっている授業の中で一番ハードだったと思います。授業内容もディスカッション多めで中間・期末関係なく重めのレポートとプレゼンがあります。教授も説明不足なことが多く現地学生でさえ苦労していました。メールをしても返ってこないことが多々ありました。英語は聞き取りやすいほうだと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Modern Japan	日本の近代史
科目設置学部・研究科	Japanese
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Kazuha Watanabe
授業内容	安土桃山時代以降から近現代までの日本史を取り扱います。先生が毎回パワーポイントを用意していてそれを板書しながら受ける形です。時折ディスカッションが行われることもあります。日本のことが好きな現地学生しか受けていないので、安心感はあると思います。少人数制なので友達もつくりやすいと思います。
試験・課題等	小テストが2週に一回程度、中間テストが2回、期末はグループでレポート・プレゼン、テスト
感想を自由記入	過去の明大生がみんなとっていたので取りました。明るい先生で単に歴史の話だけでなく関連して当時の生活や文化についてのお話も多いので面白かったです。海外からの視点で改めて日本史を学びなおすというのは大変興味深くて、とってよかったと思います。最終課題は少し重めですが、先生は親身に相談に乗ってくれますし、お題も歴史に関連していれば自由度が高いのでやりがいがあると思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Modern & Contemporary Japanese Literature	日本文学
科目設置学部・研究科	JapaneseJ
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンデマンド(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	Satoko Kakihara
授業内容	日本の近代文学の歴史について文豪ごとに学ぶ授業です。オンデマンド形式で自分のペース、スケジュールですすめられるので取ってよかったです。毎回一人の文豪について深く掘り下げながら文学の歴史を学ぶので文豪や日本文学に興味ある方にはお勧めです。期末の最後には英文を日本語に翻訳するプロジェクトがあり、それに伴って翻訳の仕方や日本語表現のニュアンスの違いなどにも触れます。
試験・課題等	毎回クイズまたは小レポートが複数、期末は英文を日本語に翻訳するプロジェクトで毎週パートナーとお互いに編集作業を行って提出する
感想を自由記入	教授がとてもやさしく、ほかの授業の履修について困っていたら親身に相談に乗ってくれたりなどとても親切です。メールの返信も速くて丁寧なので、オンラインでも不安なことはありませんでした。正直日本語話者にとってはとても簡単な授業になると思います。期末の翻訳のプロジェクトはお題も自分で見つけてきて、好きなパートを翻訳できるので自由度が高く面白かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Gender and Globalization	ジェンダーとグローバリゼーション
科目設置学部・研究科	Gender
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Grace Kim
授業内容	アメリカの移民を中心にグローバル化するジェンダー観について考察する授業です。アメリカで低賃金で働くラテン系やアジア系移民女性の問題からインドで盛んに行われている代理出産の問題、メキシコのマキラドーラと呼ばれる工場周辺で起こった不審な連続女性殺害事件など取り上げる幅は広く非常に興味深いものばかりです。先生がパワーポイントを用意する講義型が中心でオンラインでディスカッションしたりします。
試験・課題等	毎週200word以上の小レポート、中間レポート、期末レポート
感想を自由記入	〇〇主義など専門用語が飛び交うので、最初は授業内容が多少難しいかもしれませんが毎回パワーポイントをアップしてくれるので復習しやすいです。また毎週の課題は授業で扱う論文や映像を事前に観て行うので圧倒的に授業の時に頭に入ってきやすいです。課題も難しいことを聞かれることはなく、そこまで重くないのであたりの授業だと思います。内容も移民や代理出産などグローバルに起きているジェンダーに関する問題を取り扱っているのでとつきやすく面白かったです。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	IELTS受験、出願、選考
留学開始年	1月～3月	合格、パスポート更新
	4月～7月	ビザ取得、現地大学の入学手続き
	8月～9月	留学開始
	10月～12月	中間考査、期末考査、帰国
留学/帰国年	1月～3月	帰国後手続き
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

私は北米を中心にお願いして結果的にカリフォルニアにあるこの大学へ行きましたが、カリフォルニアは本当に気候が良く人穏やかでアジア人が多いので差別もなく住みやすい場所だと思います。特にフラトンはとても治安が良く一人で歩いても危険を感じることはほとんどありませんでした。アメリカは物価が高く抵抗感があるかもしれませんが、過ごしやすい気候やビーチがすぐ行ける環境で暮らしたい人にとってはカリフォルニアは最高の立地だと思います。

フラトン校は学生寮に入れる人が少ないので申し込みが始まったらすぐに申し込むことをおすすめします。また私が実際そうだったのですが、友達をつくるのに苦労するかもそれませんが、思い切っているんなクラブ活動に顔を出したり、いろんな人に声をかけてみるのが大事だと思います。英語が喋れなくてもリアクションを大きくしたりすれば大体みんな優しいので仲良くなってくれると思います。また英語の学習については私は始めるのが遅かったりしたので、早めに始めることと、コツコツと続けることを意識してほしいです。留学してからは英語を勉強する時間はないので、特に英会話は行っておけばよかったと後悔しています。また英語の YouTube を見たりして英語に慣れておくことも重要だと思います。

留学は準備も大変だし行ってからもトラブルの連続でストレスもたまったりするかもしれませんが助けてくれる人はたくさんいるし留学すれば間違いなく何か大きな学びを得て帰ることができると思うので頑張ってください！